

PRIDE

小松川第二中学校 第1学年

令和6年11月8日(金)

【コマⅡ生になる】ということ 第4回 (不定期連載)

前回の不定期連載・第3回(第18号)では、「代々の先輩たち・卒業生たちは、それはそれは後輩思いの生徒たちでした」というお話しをしました。その末尾で予告したとおり、今回はそのつづきです。



令和2年2月28日(金)、当時の安倍晋三首相が全国一斉の臨時休校を宣言しました。

あとひと月で小学2年生が終わろうとしていたあの日、小学校でも給食後に慌しく下校させられたことでしょう。翌日からの臨時休校は5月末まで3か月も続きましたね。

その年のコマⅡの3年生(赤学年)は、それはそれはかわいそうな学年でした。楽しみにしていたはずの、授業以外の全てを取り上げられてしまったのですから(もちろん、本校だけではありませんが)。

5月の運動会は中止。運動部の最後の大会(総合体育大会)も中止。何のけじめもないまま部活を引退しました。

9月の修学旅行も、11月の合唱コンクールと文化祭も中止です。

6月の分散登校に始まり、夏休みも短縮させられ、ただただ、ひたすら授業(と受験勉強)だけの毎日でした。

そんな3年生のために、最低限でも何かさせてやれないか？

教職員一同で考えたのは、うんと規模を縮小した運動会でした。事前の練習は必要最低限。応援の声も保護者の参観も一切なし。全員リレーなど団体種目だけの小さな行事です。名称も「スポーツ大会」と改めました。

そんな「無い無い尽くし」のあっさりした行事でも、3年生だけでなく1・2年生も喜んで参加しました。

スポーツ大会当日の開会式で、「それ」は起こりました。

体育委員長の3年生があいさつの中で、こう、力強く宣言したのです。

「最初で最後の、スポーツ大会を始めます！」

こんな思いをするのは自分たちだけでたくさんだ

こんな思いは自分たちで最後にしてほしい

後輩たちにはこんな思いをさせたくない

きっとあの言葉には、そんな思いが込められていたのでしょう。とても温かい一言でした。

あの代の先輩たちは、仲間の力でそのつらい思いに立ち向かったのです。いじけることも不貞腐れることもなく！互いに励まし合って支え合って、そうして1年間を懸命に過ごしたのです。

その証ともなったのが、翌春の3年生を送る会でした。

まだ、例年のように体育館に全員が集まって……というわけにはいかない時期でした。在校生は校庭で、3年生は2階のペランダで参加、という異例の形式でした。

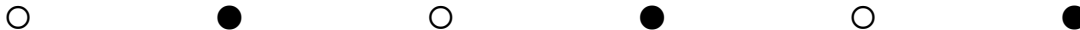
送る側(在校生)の、ささやかな、でも精一杯の取り組みに対して、3年生は「送る会」史上最高のパフォーマンスで返礼してくれたのです。コロナ禍でまだまだ制限があったあの時期に、一体いつこんな準備をしたのか？と思わせる素晴らしい演技や出し物でした。どちらが「送られる側」なのか、わからないほどの素晴らしさでした。

そんな数々のパフォーマンスの中心となって学年を仕切ったのも、体育委員長でした。
彼女は最後まで、笑顔を忘れない「素敵な先輩」でした。

そんな体育委員長に憧れた1年生(青学年)の体育委員がいました。

彼女は、「自分も先輩みたいになる！」と決意します。

その決意を貫徹し、卒業するまで体育委員を続けました。3年生に上がると委員長になりました。そして、コロナ禍以来初となる「いつもの運動会」を見事に率いたのです。



これはほんの一例です。

コマⅡには毎年のように、数え切れないほどの先輩や、数え切れないほどのあこがれをもった後輩がいます。

無条件で後輩たちをかわいがって大事に接してくれる先輩たちがいて、そんな先輩たちに心からの憧れを抱く後輩たちがいる。コマⅡはそんな学校です。

中学校によっては、「あんな先輩たちみたいになるんじゃないぞ！」と教師側が言わざるを得ないところもあります。上級生がさまざまな場面で悪い見本になってしまっている学校が、世間にはいくつもあります。

でも、コマⅡは違います。教職員が胸を張って堂々と、「先輩たちを見習おう！」と言い切れる学校なのです。

……などと改めて言うまでもなく、ここで述べた「憧れ」や「見習う」という思いは、先日の合唱コンクールを見るだけで十二分に自覚してもらえたのではないですか？

1年生の合唱は、どのクラスも懸命に頑張って素晴らしいものができあがりしました。学年合唱だって素晴らしかった。

それでも、3年生のあの合唱を見聞きしてしまうと、「これが同じ中学生の合唱なのか!？」と誰もが驚いたことでしょう。

比較の対象にならないほどに、それはそれは見事な合唱でしたね。1年生の合唱がダメだったのではなく、3年生の方が1年生の遥か上を行っていたのです。土台、スケールが違いすぎました。

「2年後に、自分たちはあそこまで行けるのだろうか？」

「あんな高いレベルに、自分たちは到達できるのだろうか？」

ほとんどの1年生にそう思わせる姿、あれこそが、コマⅡの3年生のすごさです。

そしてそれが、代々続いてきてもいるのです。

「自分たちもあの先輩たちのようになれるのか」——

毎年のように、下級生は不安になって自信を失いかけます。それでもやはり、先輩たちへの「憧れ」から、「何としても追いついて追い越してみせる！」という思いを強くしてきたのです。

それこそが、【コマⅡ 魂】です。

「憧れの先輩に、一步でも近づき、でき得れば追い越したい」——

コマⅡ生の心には、常にそういう向上心が燃えています。そして、その思いをどの代も見事に達成してきています。

こうした努力の積み重ねがいつしか伝統となり、今の小松川二中を作り上げてきたのです。

【コマⅡ生になる】とは、この伝統を受け継いで、「今年以上に素晴らしい3年生」を目指していくことなのです。 □

来週の予定

日にち	曜日	内 容
11月11日	月	50分×6 生徒朝礼 【期末テスト1週間前：この日より部活動は停止です】
12日	火	50分×6
13日	水	50分×5
14日	木	50分×6
15日	金	50分×6

ご覧のように、期末テストに向けて授業と学習に集中する1週間です